



もしも突然の集中豪雨に襲われたら・・・もしも大きな地震が起きたら・・・あなたや家族は大丈夫ですか。発生時間が夜中や通勤中だった場合はどう行動しますか。被害を減らすためには、災害を正しく理解し、備えることが大切です。

火災が発生したら

火災の現場に居合わせたらまず「通報」し、その後「初期消火」「避難」の順番で行動するのが原則です。ただし、優先順位は状況によって異なります。出火直後なら「通報」と「初期消火」の優先順位が高くなりますが、そのために逃げ遅れては大変です。慌てず、冷静な判断を心掛けましょう。

本当に恐ろしいのは煙です!

火災で発生する煙には、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれています。吸い込むと中毒などによって命を落とす危険性があるので、次のポイントに気を付けながら避難しましょう。



- ・ぬらしたタオルやハンカチなどで口と鼻を覆う
- ・短い距離なら息を止め、一気に走り抜ける
- ・できるだけ姿勢を低くする
- ・視界が悪いときは壁づたいに避難する

問い合わせ 市防災安全課 ☎43・8107



このコーナーでは悪質商法や商品事故など実際に起きている、消費生活における問題事例を紹介しています。消費者被害は決して他人事ではありません。迷ったり、困ったりしたら、一人で悩まず、ぜひ相談してください。

相談事例 “サブスク” 請求トラブルに注意!

- ①1カ月間だけ無料の動画配信サービスの解約を忘れ、利用していないのに料金請求されました。
- ②通販サイトの有料会員に登録したメールアドレスが分からず解約できません。

アドバイス 解約時期や解約方法の確認を!

サブスクリプション(以下、サブスク)とは、定められた料金を定期的に支払うことで、一定期間、商品やサービスを利用することができるサービスのことです。一般的に一度契約すると解約しない限り自動的に支払いが継続されます。まず、契約条件や解約の手続き方法をよく確認してから契約しましょう。また、申し込んだときの登録情報は、解約手続きの際に必要ですので忘れないようにしましょう。利用していないサブスクの支払いがないか、クレジットカードなどの明細は毎月確認しましょう。

問い合わせ 市消費生活相談窓口 ☎43・8106 (毎週月曜・水曜・金曜日の午前9時～午後4時)
※県消費生活センター ☎092・632・0999でも、随時相談を受け付けています

(※)次世代教育推進協会、NPO法人メッタークラブ、日本語教室「わかば」、どの子も凸凹プロジェクト実行委員会、演劇集団フリーグラム



このコーナーでは、持続可能で、誰もが幸せなまちづくりの実現に役立つ情報を掲載しています。



住みよいまちづくり推進企画活動団体交流会を開催

市では、市民参画と共働によるまちづくりをすすめるために、市民の皆さんによるまちづくり活動への支援として「住みよいまちづくり推進企画活動補助事業」(以下、住みよい事業)を実施しています。11月17日に、令和3年度の交付決定団体である5つの団体(※)による交流会を開催しました。

今後の活動の幅や活動の輪が広がるきっかけになってほしいという趣旨のもと、交流会を企画しました。交流会当日は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、各団体2人以内で制限し、5団体の合計8人が参加しました。

自己紹介の後「今日楽しみにしていること」を一言ずつ発表し、団体の活動紹介へ。各団体とも、活動を始めたきっかけや活動にかける思い、これまでの歩みや住みよい事業交付決定後の半年間の活動内容などを発表、紹介し合いました。発表の際には、市ボランティアセンタースタッフがグラフィックファシリテーションの手法を用いながら記録をしていきました。その後は、住みよい事業として、市と共働でまちづくりをすすめる上で感じていることや、互いの活動についての質問など、団体間での情報交換の時間となりました。令和4年3月には、令和3年度の活動の総括として、5団体による活動報告会を開催する予定です。これからも5団体による住みよいまちづくりの取り組みは続きます。



▲参加した5つの団体が順番に活動紹介を行いました



▲各団体の活動や思いをグラフィックファシリテーションの手法で記録しました

年末年始のごみ収集・し尿くみ取り			
燃やすごみ収集 ※1月1日(土) 1月4日(火)は休み	地域(曜日)	年末最後の収集	年始最初の収集
	月・木	12月30日(木)	1月6日(木)
	火・金	12月31日(金)	1月7日(金)
	水・土	12月29日(水)	1月5日(水)
分別収集		年末最後の収集	年始最初の収集
	公設分別ステーション	12月25日(土)	1月8日(土)
	剪定くず・草ステーション	12月25日(土)	1月8日(土)
	古紙・古着倉庫	12月24日(金)	1月5日(水)
し尿くみ取り	業者	年末最後の収集	年始最初の収集
	林田産業	12月28日(火)	1月4日(火)
	津屋崎サニタリー	12月29日(水)	1月4日(火)
自己(直接)搬入		年末最後の収集	年始最初の収集
	古賀清掃工場	12月28日(火)	1月4日(火)
	本木不燃物処理場	12月28日(火)	1月7日(金)

※その他詳しくは、ごみの出し方パンフレット、広報折り込みカレンダー、市公式ホームページなどをご覧ください

持続可能な保全活動を行うためには、地域だけではなく企業や行政とパートナーシップを構築して取り組んでいくことが重要です。市内では、松林だけでなくさまざまな保全活動が行われており、担い手不足は喫緊の課題となっています。そこで、本シンポジウムでは地域、企業、行政がどのように連携していけばいいのか先進的な取り組みについて情報を共有し、今後

の連携に向けてどう展開していくのか考えます。
日時 令和4年1月29日(土) 午後1時～午後3時
場所 市役所
定員 会場40人、オンライン40人 ※要予約
講師 徳島大学教授 鎌田 磨人さん
進行役 九州工業大学教授 伊東啓太郎さん
受付方法 電話
受付期限 令和4年1月21日(金)

福岡市は豊かな自然環境に恵まれた場所です。本市の誇るべき資産ともいえる自然環境を保全・再生していくために、市内のさまざまな場所で市民、地域、市民団体、企業などによる保全活動が実施されています。中でも海岸線の松林は、海からの飛砂や塩害などが

から私たちの暮らしを守る大きな役割を担っています。各地域の郷づくり推進協議会を中心に、松林内の下草刈りや松葉がきなどの保全活動が定期的に行われています。地元の小・中学校や企業の参加もあり、共働での保全活動に向けた取り組みが行われています。



▲市内のさまざまな団体が情報を共有

環境 掲示板

ふくつ環境シンポジウムを開催します

市ではSDGsの考え方を踏まえた環境保全に取り組んでいます。このコーナーでは、市民の皆さんの生活に身近な、ごみや動物、環境に関するお知らせします。

問い合わせ 市うみがめ課 ☎62・5019